

令和7年度 2年次生 学びのプラン

教科名	公民	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	2年次	
科目名	公共	履修	必履修(共通)	開講	通年	
教科書	詳述公共(実教出版)	副教材	ライブ！公共 2025(帝国書院)			
1 学習の目標						
人間と社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代社会の諸課題を追求したり、解決したりする活動を通してグローバル化する現代社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とします。						
2 学習の方法						
・授業は教科書・副教材・プリントを主な教材として進めます。授業には集中して臨み、単に話を聞くだけではなく哲学などについてしっかりと理解した上で、自分なりの考えを創って欲しいと思います。						
・ただ語句を暗記するのではなく「その出来事が他の出来事どう関連しているのか」や「その出来事はどの用は背景で生まれ、どのような影響を与えているのか」など、「考える」ことが重要になる授業です。語句を覚えることも必要ではありますが、ただ「丸暗記型」の授業の受け方では理解できません。						
・タブレットは必要に応じて使用を指示する場合もありますが、基本的には話に集中し、ノートやプリントに記入することを心がけてください。						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	現代社会の諸課題と、人間としてのあり方に関わる基本的な事項を理解し、その知識がしっかりと身についているか。					
思考・判断・表現	身につけた知識から、社会的事象のの本質や人間としてのあり方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現できているか。					
主体的に学習に取り組む態度	社会の有為な形成者として必要な公民としての資質・能力を高めるべく、意欲的・主体的に学習に取り組み、よりよい社会の実現を視野に、諸課題を主体的に解決しようとしているか。					
②評価の方法						
材料 観点	定期 考査	ノート・ プリント	話し 合い	課題提出	授業態 度	評価方法
知識・技能	◎	○		○		左記のうち、定期考査を中心に日常の学習成果も加味してA・B・Cで評価する。「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、不十分なものをCとする。
思考・判断・表現	◎	○	○	○		左記のうち、定期考査やレポート等での成果も加味してA・B・Cで評価する。「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、不十分なものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	◎	◎	左記のうち、主に提出された課題取り組みの内容により評価する。問に対し十分に答えているものをA、やや不十分なものをB、不十分なものをCとする。
4 その他						
・ノート・プリントを中心に授業行う予定です。ノートやファイルなどを用意してください。						
・授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。						

5 単元の目標・評価							
単元名		公共的な空間をつくる私たち					
単元の目標		「公共的な空間」とは、地域社会や国家、社会などにおける人間と人間との繋がりや関わりであることを理解し、自らが社会に参画する自立した主体であることを認識する。					
育成を目指す力		行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態		一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容		授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準		青年期のとはどのような時期なのか、個人の尊厳、人間の多様性と共通性、キャリア形成と自己実現について、基本的な知識がしっかりと身についているか。		基礎知識を身につけた上で、それらの事項を自らに重ね合わせて思考、判断し、自らの考えをしっかりと表現できているか。また先哲の思想を自らのこととして捉えられているか。		青年期とはどのような時期なのかを考え、現在、高校生としてのあり方を基本的な知識と、自らの考えを表現したオリジナルノート、あるいはレポートを作成する。	
単元名		公共的な空間における基本的原理					
単元の目標		公共的な空間を形成する基礎となる基本的な知識を学び、公共的な空間の中で自立した主体となり、よりよい公共的な空間づくりに参画できる能力を身につける。					
育成を目指す力		行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態		一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容		授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準		公共的な空間の基礎となるもの、すなわち「人間の尊厳」「平等」「民主政治の基本原則」「法の支配」「自由・責任・権利・義務」などの意味を理解し、それが現実社会でどのように運用されているかを理解する。		公共的な空間の基礎となるものを学び、理解し、それらを身につけることの重要性を思考、判断し、将来的に公共的な空間における自立した主体となることを想定し、その考えを表現する。		民主政治の基本原則や日本国憲法の基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追求しようとしているか。	
単元名		法的な主体となる私たち					
単元の目標		法的、政治的主体として、よりよい社会の形成に向けて、公共的な空間における基本的原理を念頭に置きつつ、どのように政治に参画すべきかを考察する。					
育成を目指す力		行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態		一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容		授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準		法の意義と特色、法の支配の原理、法の分類などについて理解し、法の役割や働きについて考察するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめるための知識、技能を身につけている。		市民生活における法の意義、さまざまな場面における法の役割にかかわる諸事象について、それらの背景や影響などを多面的、多角的に考察し、表現できる。		消費者問題や日常生活の中における契約、未成年者における法の位置づけなどについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追求しようとしているか。	

単元名	政治的な主体となる私たち					
単元の目標	国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みを理解し、選挙についての知識を正しく身につけ、政治参加の意識を高める。また国際社会における日本の役割について考察する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	日本の政治機構についての基本的知識が身についているか、またその知識をもとに日本の課題を考察できる。また国際社会の現状と課題について適切に把握し、日本の役割について考察するための知識や技能を身につけている。		国会、内閣、裁判所、地方自治などにおける基本的知識をもとによりよい政治を実現するための手段や考え方を表現できる。また国際社会の現状を踏まえ、日本の果たすべき役割を考え、表現できる。		日本の政治機構について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しているか。また、国際社会の現状と課題を把握し、そこで見られる課題を主体的に追求しようとしているか。	

単元名	経済的な主体となる私たち					
単元の目標	現代の市場経済、金融・財政の働きや課題について理解し、今後のあり方について考察する。また国際経済の現状と課題を理解し、日本の役割を幸福、正義、公正の観点から考察する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	現代の市場経済、金融・財政の働きや課題について理解し、今後のあり方について考察する。また国際経済の現状と課題を理解し、日本の役割を幸福、正義、公正の観点から考察する。		経済における基本的な知識や技能の基盤の上に立ち、よりよい経済社会の実現、また国際社会における日本のあり方について思考、判断し、表現できる。また、将来的な自己の役割についても考察する。		単に知識の習得にとどまらず、幸福、正義、公正の観点からさまざまな事象について主体的に考え、経済社会における現状や課題を主体的に追求し、その解決策について考察しようとしているか。	

単元名	持続可能な社会づくりの主体となる私たち					
単元の目標	現代における諸課題を探求し、その課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察、構想し、その解決策の妥当性や効果、実現可能性などを指標として、自らの考えを確立する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	現代社会における諸課題、地球環境問題、資源エネルギー問題、生命倫理の問題、情報化社会の諸課題、国際社会の課題などについて、その概要を知る		現代社会における諸課題から一つを選びグループワークを行い、課題探求活動を展開し、課題設定、情報の収集、課題の探求、自分たちの考えをまとめ、表現する。		グループの中で積極的に課題探求活動に取り組み、自分たちの考えをまとめるに当たって主体的に活動しているか。	

6		年間計画				
学期	月	単元		項目	予定時数	考査
前期	4	第1編 公共の扉	第1章 公共的な空間を作る私たち	・公共的な空間と人間とのかかわり ・社会に参画する自立した主体 ・人間としてのあり方生き方 ・選択、判断の手がかりとなる倫理 ・自立した主体となること ・よりよい公共的な空間づくり	12	前期中間考査
	5		第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理			
	6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第1章 法的な主体となる私たち	・法や規範の役割と意義 ・契約と消費者の権利、責任 ・司法参加の意義 ・政治参加と公正な世論の形成 ・国際社会と国家主権	20	前期期末考査
	7		第2章 政治的な主体となる私たち			
	8					
後期	9			・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割 ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観	15	後期中間考査
	10					
	11					
	12			・市場経済の機能と限界 ・金融の働き ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	16	後期期末考査
	1					
2						
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち		・現代社会の諸課題に関する課題探求活動	7	